

答：公社が土地を先行取得する際には、全額金融機関からの借入れによって行われる。市から委託を受けた公有地の取得は、市の予算がついた段階で公社から買い取りをします。公社が取得する段階では税金は使われていません。

質：土地が下がっているのに先行取得する必要があるのですか？
答：公社が出来た背景として、法律成立当時は地価が高騰していた時代であり、迅速に土地を取得しなければ事業費が高くなって財政を圧迫してしまうという中で、議会の議決を経ないで必要な土地を取得できる土地開発公社という法人は存在意義がありました。現在は地価が年々下がっており、土地の取得は遠いほど良いというような情勢になっています。しかしながら、市は毎年予算の範囲で業務を行っており、将来、市が必要になる土地が売りに出されたとしても予算がなければ購入することが出来ず、事業が滞ってしまうあるいは中止しなければならなくなってしまうことも考えられます。そのようなことがないように、市の委託に基づいて必要な土地を先行取得しておく、予算が付いた段階で市が買い取るこ

ととなっている。(以上INより)

報告事項



○ 職員の不祥事に係る懲戒処分について

事実関係：人権推進課課長補佐兼本郷センター施設長森安保裕は前職場である建設部港湾課在任中(H17年3月22日からH19年3月31日まで)、広島県東部港湾振興協会三原支部会の預金口座から、H17年9月からH18年8月までの間に、11回にわたり総額3,499,456円を引き出し私的に流用した。直ちに返還要求を行ったところ、5月1日及び2日で全額を同預金口座に返戻した。
処分：「懲戒免職」、管理監督者は「減給10分の13ヶ月」 市長・副市長は「減給10分の11ヶ月」
今後の対策：三原市が事務局として公的な資金を預かっている各種協議会等の出納については、速やかにシステムの抜本的な見直しを行います。また、職員の職務規律の確保や公務秩序の確立等、職員の意識改革を徹底し、再発防止に努めます。

○ 三原バイパス部分開通(糸崎町〜新倉町9.9km)

開通日：平成19年5月28日
区間：時広ランプ〜中之町ランプ
延長：約1.6km(これにより6.9km既に供用)

○ 史跡の追加指定について

三原城跡
既指定地18,110㎡
追加指定地2,740㎡
三原城跡は小早川隆景が築いたもので、沼田川河口の三原湾にあつた大島・小島を基盤として築造され、海に向かって舟入りが開かれた城郭兼軍港としての機能を備えており、「浮城」とも呼ばれた。永禄10年(1567)に築かれ、小早川氏の移封後も福島氏、浅野氏の支城となつて明治維新まで存続した。



今回、三原市が三原城跡の重点的な保護・保存箇所としてきた天守台跡を囲む堀外周の西及び北側について、指定条件が整つたため追加指定する。(5月18日)

○ 任命同意について

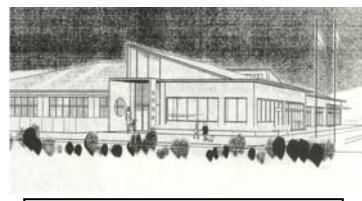
三原市教育委員会委員：鈴木孝昭
三原市本郷町本郷4752番地・S16年1月1日生
任期：H19年5月20日〜H23年5月20日

○ 選任同意について

三原市公平委員会委員：亀田睦雄
三原市宮浦二丁目6の6・S29年7月9日生
三原市公平委員会委員：井上直樹
三原市西宮一丁目30の14・S19年7月13日生
任期：H19年5月20日〜H23年5月20日

○ 大和子ども園について(幼保一元化)・定員165人

長時間利用児童 0〜2歳児(40人) 7:30〜18:30
(月〜土) 3〜5歳児(95人) 7:30〜18:00
短時間利用児童 3〜5歳児(30人) 8:30〜14:00 (月〜金)
*特別保育等付加サービス
延長保育・一時保育・預かり保育
*施設概要
予定地：大和町下徳良697-2
規模：1,366㎡(建築面積)
園庭：80㎡トラック・幼児用プール
駐車場：40台

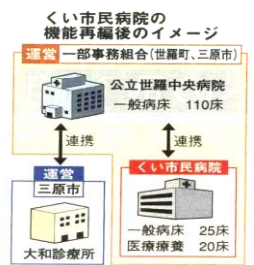


大和子ども園完成予想図

○ 北部地域の医療確保と病院等健全計画

病院経営を取り巻く環境は、急速な少子高齢化、医療高度化により、医療財政が逼迫し抜本的な医療制度改革が進められています。国や県では、医療費適正化事業を総合的に推進し、より効果的な運営体制や財政基盤のあり方について検討をした。

(医療制度改革・診療報酬の改定・医療保険制度の改革・医提供体制の方向性など)
検討結果：久井地域における医療体制を確保するためには個々の病院ごとに捉えるのではなく世羅町を含めた広域的な地域の中で、医療機能の分化により、基幹病院には中核的な機能を持たせ、他の病院・診療所においては、基幹病院のサテライト的な役割を担い、日常的な医療確保を再編が最も適切な方法である。



久井市民病院の機能再編のイメージ

○ 防災対策アクションプラン(H18年度〜H22年度)

基本理念：①総合的な災害予防の展開 ②自助・共助・公助による地域防災力の向上 ③応急体制の整備
施策の内容：①市土の保全に関する計画 ②災害に強い防災基盤の整備 ③防災力向上のための公共施設の整備 ④ライン施設整備 ⑤調査・研究の推進

○ ペアシティ三原東館の解体工事について

事業主体：㈱ライフコート
施工業者：大同建設株式会社
構造：SRC構造地下2階付陸屋根9階
工事期間：H19年6月〜H20年2月
*新築(工事着工・完成予定：H20年4月)



○ 本郷駅改良工事について(説明会：5月25日)

質：駅北には駐車場は
答：南側のみ駐車場整備する。
質：自由通路に自転車は
答：歩行者専用です。
質：杭工事での振動は
答：圧入工法で振動は低減する。
質：夜間工事はどの程度
答：実質作業は3〜4時間です。
質：エレベータは設置するの
答：自由通路2基、駅構内に1基設置します。
*駅舎内に警察施設(80㎡)



本郷駅周辺整備事業(完成予想図)

○ 全国山城サミットが三原市で!

三原城跡や新高山城跡など「小早川氏城跡」の国史跡指定50周年を記念し、中世の城館遺跡を持つ62市町でつくる全国山城連絡協議会との共催で、10月13・14日に本郷学習センターで催します。



請負契約

○ 三原市新文化施設建設工事(建築主体工事) 請負契約の変更
金額：2,583,000千円を2,671,379千円
工期：H19年7月25日をH19年9月15日
理由：既設文化会館の解体工事に不測の日数を要したため、履行期限を変更するもの。(アスベストの撤去のため2ヶ月建設工事に着工が遅れた。)他に電気設備・空調設備・給排水衛生設備工事も9月15日に変更

「わくわく工房」のご紹介 所長 井上武典
小規模作業所NPO法人わくわく会「わくわく工房」は、沼田川沿いの社会福祉協議会の一階を間借りして、現在11名の利用者の方が通所されています。仕事は掃除(委託)の他にアルミ缶の収集活動と自主製品(マツト・はがき・封筒・ポチ袋・祝い箸など)の販売をしております。

人は誰でも時間的な差こそあれ、確実に社会適応能力が低下し・弱者の立場に立たされます。
ある学者が「障がい者への尊厳と協働のまちづくりに取り組まれた地域は、住み良い豊かな文化の町である」と述べています。
幸い市民の皆様の暖かい支援を頂き、様々な作業に取り組んでおります。仕事をすることが難しい利用者でも安心して日中過ごせる場所の提供を職員一同、心がけていますので今後とも宜しくお願いたします。



「わくわく工房」の作業所

*アルミ缶収集にご協力を!(86-4974)

お知らせ(加村ひろし後援会主催)

● 第2回 グラウンドゴルフ大会(梨羽会)
H19年11月16日(月) 予定：北方グラウンドゴルフ場
定員：150名程度
● 第1回 ゴルフ大会
H19年11月7日(水) 予定：本郷カントリー
定員：100名程度



* 詳しくは次号の議会報告NO10号に掲載いたします。
電話・FAX 0848-8615032
携帯電話 090-8995-4932

